

# 日本基督教団関東教区 東日本大震災から10年を覚える礼拝

日時：2021年3月11日（木）午後2時00分～3時00分

場所：日本基督教団宇都宮教会よりリモート配信

司 式 熊江秀一（大宮教会）

奏 楽 川上 盾（前橋教会）

前 奏

（\*は、立ちましょう）

招きの言葉

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。  
苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。  
わたしたちは決して恐れない  
地が姿を変え 山々が揺らいで海の中に移るとも  
海の水が騒ぎ、沸き返り  
その高ぶるさまに山々が震えるとも。

（詩編46編2～4節）

\*讃 美 歌 21-43-3番「主よ、おいでください」

- 1 主よ、おいでください。クムバーヤー マイロード クムバーヤー、  
主よ、おいでください。おお、主よ、クムバーヤー。
- 2 泣いてる人がいます、クムバーヤー マイロード クムバーヤー、  
泣いてる人がいます、おお、主よ、クムバーヤー。
- 3 祈っている人がいます、クムバーヤー マイロード クムバーヤー、  
祈っている人がいます、おお、主よ、クムバーヤー。
- 4 歌ってる人がいます、クムバーヤー マイロード クムバーヤー、  
歌ってる人がいます、おお、主よ、クムバーヤー。

\*詩編交読 詩編86編5～10節

司式：主よ、あなたは恵み深く、お赦しになる方。

一同：あなたを呼ぶ者に

豊かな慈しみをお与えになります。

司式：主よ、わたしの祈りをお聞きください。

一同：嘆き祈るわたしの声に耳を向けてください。

司式：苦難の襲うときわたしが呼び求めれば

一同：あなたは必ず答えてくださるでしょう。

司式：主よ、あなたのような神は神々のうちになく

一同：あなたの御業に並ぶものはありません。

司式：主よ、あなたがお造りになった国々はすべて

一同：御前に進み出て伏し拝み、御名を尊びます。

司式：あなたは偉大な神

一同：驚くべき御業を成し遂げられる方

司式・一同：ただあなたひとり、神。

\*聖 書 創世記50章20節

あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです。

祈 禱 木村太郎 (宇都宮教会)

\*特別賛美 Thuma Mina 2 - 15 番「神の民」 川上 盾 (前橋教会)

1. 神の民 荒れ野の中  
さまようとも 主が先立つ  
神の民 持てるものは  
砂ぼこりと 主の約束  
主よ、わたしもまた あなたの民  
恵みに立ち かたく生きる
  
2. 神の民 時には揺れ  
時に迷い 時に沈む  
神の民 泣いて祈り  
不信仰の ゆるしを乞う  
主よ、わたしもまた あなたの愛  
信じきれず 揺れています
  
3. 神の民 飢えた時に  
主は天から パンを与え  
神の民 恵み受けて  
高く歌う 感謝の歌  
主よ、わたしも今 気づきました  
あなたこそが いのちの糧
  
4. 神の民 はるかに見る  
あなたからの 約束の地  
神の民 主の力を  
歌いながら その地を踏む  
主よ、わたしも今 希望の地へ  
日ごと日ごと 近づきゆく

説 教 「悪を善に変える神」 福島純雄関東教区議長 (筑波学園教会)

祈 禱

\*讚 美 歌 21 - 425 番「こすずめもくじらも」

- 1 こすずめも、くじらも、空の星も、  
造られた方を たたえて歌う。
- 2 大地震も、嵐も、稲光も、  
造られた方に 助け求める。
- 3 七色に輝く 虹と十字架、  
空の墓を見て、感謝献げよう。
- 4 飢え、乾き、病と、浪費の世に、  
造られたものは いやし求める。
- 5 隣人と敵との へだてはなく

神は愛と平和 お与えになる。

- 6 いつの世もおられる 愛の神は、  
未来の世代の 生きる喜び。

**\*連帯の祈り 小池正造（東新潟教会）**

東日本大震災被災教区と祈りを合わせることを覚え、「東北教区 3.11 わたしたちの祈り 2021」を共に祈りましょう。

主なる神さま

あなたのみ名をほめたたえます。また、あなたのみ救いを求めて祈りを合わせます。

わたしたちは、10年前の「あの日」の出来事を忘れることができません。

「あの日」、わたしたちは、激しい大地の揺れを経験し、迫り来る巨大な波を目の当たりにしました。

「あの日」、わたしたちは、生命の危険を覚え、深い恐怖を味わいました。

「あの日」、わたしたちは、取り返しのつかない大事故が起きてしまったことを知りました。

「あの日」愛する家族や隣人を失い、「あの日」から大切な故郷を奪われ、生活の困難さや孤独を強いられた多くの人々がいることを、わたしたちは知っています。

「あの日」を境に、わたしたちの人生は大きく変えられました。

「あの日」の悲しみや痛みを抱えたまま、10年後の「今日」を迎えました。

しかし神さま、あなたは「今日」という忘れることのできない日に、わたしたちが静まり、あなたのことを知るようにと、この礼拝の時を聖別してくださいました。

「静まって、わたしこそ神であることを知れ。わたしはもろもろの国民のうちにあがめられ、全地にあがめられる。」（詩篇 46 篇 10 節・口語訳）

そして、今も続く困難な時代を通して、わたしたちが切に祈り求めるようにと、お招きくださいました。

「苦難の中で、わたしが叫ぶと主は答えてくださった。」（ヨナ書 2 章 3 節・新共同訳）

主なる神さま、ヨナの祈りのように、どうかわたしたちの祈りも聞き入れてください。

慈しみと慰めを賜る神さま

今なお、苦しみと悲しみの中におられる一人ひとりの涙を拭ってください。地震と津波によって被災された方々の生活を顧み、一日も早い回復をもたらせてください。すべての復旧・復興に携わる方々のいのちと健康を支え、その業をお守りください。

憐れみ深い神さま、どうかわたしたちをお赦してください。

わたしたちは、あなたから託されたこの大地を「あの大事故」によって汚してしまいました。その代償は大きく、数世代後の人々にまで、とてつもなく大きな影響を及ぼすこととなりました。それにも関わらず、「負」の側面を隠蔽して、まるで何事も無かったかのように振る舞おうとする人間の欲深さ・罪深さは絶えることがありません。しかし、あなたはこのようなわたしたちを見捨てることなく、イエス・キリストの十字架の出来事によってわたしたちの罪を赦してくださったことを、感謝いたします。

「あの大事故」の現実を受け止めつつ、人間の傲慢さが生み出す過ちを二度と繰り返すことのないようにわたしたちを正してください。そのためにも為政者たちがあなたの知恵に満たされ、真摯な悔い改めと正しい決断へと導かれますように。また、どうか未来を担う子どもたちをお守りください。

すべてをご存じでおられる神さま

わたしたちはまた、新型コロナウイルス感染症と格闘しながら、この困難な時代を生きています。今は活動が制約され、人との交わりが断たれ、時に孤独に陥りやすい状況におかれています。

創造主なる神さま、人が独りでいることを良しとしなかったあなたは、わたしたちを互いに助け合う者としてお造りになられました。震災を経験し、いまコロナ禍にあるわたしたちの心が罪に覆われてしまうことのないようにお守りください。先の見えない暗闇にあっても、わたしたちの信仰があなたの「希望」に根ざすものであるように、どうか助けてください。

絶えずキリストに倣う者として、互いに励まし合い、支え合うことができるように力を与えてください。

また、一日も早くコロナ禍が収束し、再び豊かな交わりを喜び合うことができるように導いてください。

わたしたちは、あなたがいついかなる時にも、共にいてくださることを信じます。

わたしたちは、あなたからいのちを与えられ、生かされていることを喜び、感謝します。どうぞわたしたちを、地の塩・世の光として、神さまの平和を実現する者として、豊かに用いてください。

**点 鐘（2011年3月11日午後2時46分を覚えて）**

**沈黙の祈り（沈黙のうちにそれぞれで祈りましょう）**

この祈りを、わたしたちの主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン。

**\* 平和の挨拶** 「キリストの平和が わたしたちの心の  
すみずみにまで ゆきわたりますように」（二回繰り返し歌う）

司式：主の平和がありますように

一同：主の平和がありますように

**\* 頌 栄** 天のみ民も、地にある者も、  
父・子・聖霊なる神をたたえよ、  
とこしえまでも。アーメン。

**\* 祝福の祈り** 福島純雄関東教区議長（筑波学園教会）

**\* 後 奏**